

農薬などの半揮発性化合物の GC 分析に最適なカラム

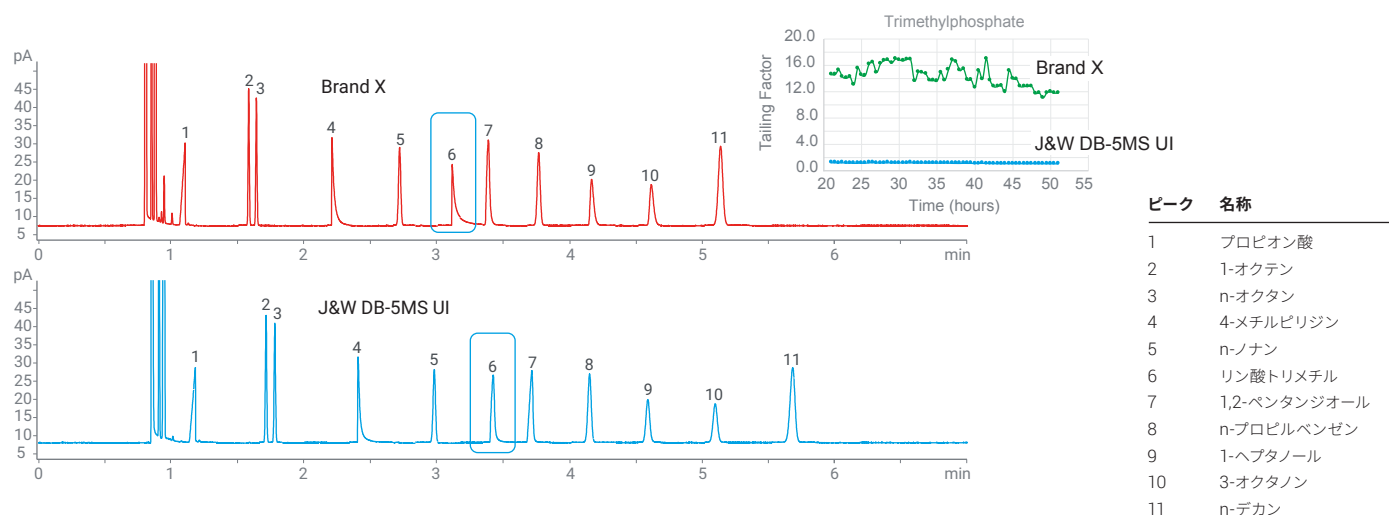
Agilent J&W DB-5ms ウルトライナート GC カラム



半揮発性化合物の分析でも高い性能を維持する GC カラム

半揮発性化合物の GC 分析には、堅牢性と熱安定性を兼ね備えたカラムが求められます。最高温度で長時間使用すると、一部の GC 相が損傷し、活性化合物の著しいピークテーリングが発生する恐れがあるためです。

Agilent J&W DB-5ms ウルトライナート GC カラムなら、分析困難な半揮発性物質を高温で連続分析する場合でも、一貫したピーク形状が得られます。Agilent DB-5ms UI カラムと他社製の 5ms カラムを 350 °C で 50 時間使用した後に比較したところ、他社製カラムではリン酸トリメチルのピークテーリングの増大がみられたほか、テーリングファクターが時間とともに上昇しました。アジレント製カラムにはどちらの問題もみられず、分析困難な化合物においても優れた堅牢性を示しました。DB-5ms UI カラムの性能により、再分析を低減し、メソッドの再キャリブレーションを最小限に抑えるとともに、同じ GC カラムでより多くの分析を実行できます。



条件

GC システム: Agilent 8890/FID

カラム: Agilent J&W DB-5ms ウルトライナート
30 m x 0.25 mm x 0.25 µm
(121-5522UI)

注入口: スプリットモード、250 °C、250:1

キャリア: ヘリウム、定流量、1.3 mL/min

オープン: 65 °C (10 分)

検出器: FID、325 °C、水素: 30 mL/min、
空気: 400 mL/min

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

結果の信頼性を最大限に高める Agilent イナートフローパスソリューションの詳細については、www.agilent.com/chem/jp をご覧ください。

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。
本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2021
Printed in Japan, August 24, 2021
5994-3909JAJP
DE44421.4833680556